

一般質問

六月議会

マイナンバーについて

マイナンバーカードの発行状況が思わしくないと感じ、本市における直近のマイナンバーカードの交付枚数、交付率を聞きました。マイナンバーカードの発行枚数は、5月31日現在で5,303枚、人口対比で9%とのことでした。

次に、総務省の広報によると本年7月から他機関との情報連携が開始されると広報されていますが、現在総務省が公開している「今後のスケジュール(案)について」という資料によると、情報連携について平成29年7月後半から試用、10月後半から本格運用となつていきます。

そこで、マイナンバー制度の運用状況並びに今後のスケジュールについて聞きました。内閣府及び総務省の連名の文書が出され、7月18日から「自治体間連携」に資する「情報提供ネットワークシステム」が稼動すること、3か月程度「試行運用期間」とすることです。

さらに、総務省のホームページでは「マイナンバー制度導入後は、社会保障・税・災害対策における

各種手続において、身元(実存)確認とともに、個人番号の記載・確認を求められることとなりませう。」と説明されています。そこで、個々の手続きにおいて個人番号の記載を行わなくても手続きは完了するのかについても確認しました。答えはYESです。

国道16号線拡幅工事について

武蔵野橋の掛替工事については当市域にも及んでおり、総武国道事務所が発行する「かわらばん」がその都度配布されて概況が分かりましたが、松原地区6車線化工事に関しては工事区間が昭島市であるためか福生市の住民には一切説明されませんでした。

4月22日、拝島第三小学校において総武国道事務所主催の工事説明会が開催され、私も出席しました。本説明会は武蔵野橋南交差点から小荷田交差点の間にある2つの交差点の廃止計画が説明されましたが、地域住民は総じて反対の意思表示をしていました。このような状況において、市として国道16号線拡幅事業の現状をどのように捉えているか聞きました。

総武国道事務所の説明では、松原地区については、説明会の対象

を沿道住民とし、沿道が概ね昭島市に面していた結果、福生市に情報提供がなかったとのこと。2つの交差点の存続と側道設置に対する要望には、改めて相武国道事務所が警視庁と協議を行うこととなっているので、今後の推移について注視して行くとのことでした。

九月議会

オープンデータについて

オープンデータって何？

内閣官房の作成した資料では「政府や独立行政法人、自治体などが保有する公共データが、国民や企業などの利活用されやすいように機械判読に適した形で、二次利用可能なルールの下で公開されること、また、そのように公開されたデータを指します」と定義されています。

当市では平成28年8月31日に人口、決算、公共施設に関するオープンデータを公開しています。現時点で全国では292の自治体

体が公開していますが、西多摩では当市のみ、東京都でも当市を含め7つの市しか公開していません。そこで、当市のオープンデータに対する考え方及び公開に至った経緯について聞きました。

当市では、平成27年4月に策定した「福生市行政改革大綱推進計画」の中で、重点事項として「オープンデータによる行政資料等の公開」を位置づけており、この計画に基づき、平成27年度から平成28年度にかけて実施した市ホームページのリニューアルに合わせて、平成28年9月からオープンデータの公開を始めたとのことでした。

実は先進市のみならず、東京メトロをはじめ企業においてもオープンデータを推進しており、それを使ったアプリが増えています。図は駅のトイレの流し方というアプリで、スマホのGPS情報を利用して、今いるトイレの情報を表示してトイレの流し方を教えてくれます。英語、動画も。当市においても様々なデータがオープンデータとして公開され、それを使ったアプリが流通することを願っています。

東京メトロのオープンデータアプリ

トイレの流し方

